

- 1 実施日時 令和6年2月21日(水)
- 2 実施学年 2年
- 3 実施教科 国語
- 4 単元名 「見たこと、かんじたこと」



5 学習の流れ

詩にしたいことをさがそう。

- 1 詩の題材になりそうなものをたくさん探し、1人一台学習者用端末で写真を撮る。
- 2 視覚、聴覚、触覚などの諸感覚を通して感じたことをそれぞれの画像に書き込む。
- 3 写真を授業支援ツール(スクールタクト)で友達と共有し、コメント機能を使って感想を伝え合う。
- 4 本時を振り返り、詩の題材にしたいものを決定する。

6 Chromebook の活用

- カメラアプリで詩の題材にしたいものを撮影する。
- 感じたことを画像に直接書き込む。
- 授業支援ツールを使用して、画像を共有し、コメント機能で感想を伝え合う。

7 児童・生徒の様子

詩の題材を探して子供たちは校庭の隅々まで歩き回り、興味の湧くものをたくさん発見し、写真に収めていた。また、画像に直接書き込むことができることで、撮影したその場で、色や形、音、触った感触、匂い、温度など、体全体を使って感じたことを記録することができた。また、教室に戻ってからも写真を見返すことで観察の続きを行うことができ、子供たちが自分に合ったスピードで学習を進めることができた。

8 振り返り

本単元は、初めて詩を作る学習であることから、実物をよく観察し、体全体で感じながら自分の思いを言語化していくことを軸として学習を進めた。カメラアプリを活用することで、写真として簡単に記録することができ、子供たちは感じたことを言語化することに集中することができた。国語科の学習として、できるだけ言葉と向き合う時間を確保するのに、効果的であった。

また、題材を探すときに持って行くツールが1人一台学習者用端末のみでよいため、低学年でも題材を探す活動を行いやすかった。子供たちが複数の題材を探すのに効果的であった。

